

「わたしのこぼし展」・「ものののこしかた」展 7月は2つの展示が始まります

回覧



2022 7月号

七月二日(土)から「わたしのこぼし展」を開催します。

五月十五日(日)に行われた新潟日報社主催『子どもフォーラム』自由アートでつながろう』が開催され、芸術村スタッフが講師となり、ワークショップを行いました。内容は、親子で参加の起き上がり小法師の絵付体験。



また、七月十六日(土)から「ものののこしかた」展を開催します。西会津町地域おこし協力隊の西尾佳那氏と協力隊OBの居村浩平氏が所属している Summer Catch Salmon による展覧会です。こちらの展示は、七月一日まで東京都美術館で開催された、巡回展になります。本展は、奥川地区真ヶ沢集落における、古川利意記念美術館設立への取り組みを起点に、「ものののこしかた」について考察する展示です。



草木をまとして山のかみさま 大山祇神社にてお披露目しました

六月二十五日(土)に「草木をまとして山のかみさま」を開催しました。本年は、創始者の華道家、片桐功敦さんをお招きし、西会津町大山祇神社の神楽殿をステージに、草木をまとい、舞や音楽などのアートパフォーマンスを披露しました。山のかみさまのご神体は山そのもの。参加者には、山のかみさま、

まの庭からいただいた草木をまとい自然を思いだす体験と、森の恵みと草花の儚さを体感しながら、山のかみさまになりました。参加された方からは「いつも道端で見ている草花が綺麗に装飾されて感動した。飾りを外すのが勿体無い。素敵な体験ができました。」と感想をいただきました。



「ことばのカケラ」展 無事閉幕しました

四月二十九日(金)から開催していた「ことばのカケラ」展。無事閉幕しました。昨年引き続き大好評の開催となり、多くの方に来館いただきありがとうございました。うございまして。

五月には、谷川賢作氏をお迎えし、ことばと音のワークショップを開催し、好評に終わりました。約二ヶ月間の会期中、訪れた方には「自由で生きるとした作品に心が躍りました。良い刺激を受けました」と感想をいただきました。こちらの書道展は、来年春にも開催を予定しています。お楽しみに。

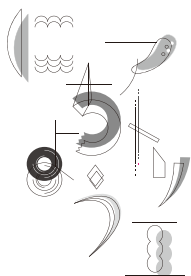


世界にひとつだけの 箸づくり体験

六月五日(日)コミュニティ福島で開催された「コミュニティサロン」内のワークショップで、芸術村スタッフが箸作り講師として参加しました。当日は、お子さんから大人まで多くの方にご参加いただきました。

小刀を初めて使う方も多く、最初は「できるかな?」と心配でしたが、最後は、カッコいい世界でひとつだけのマイ箸を作ることができました。西会津国際芸術村では、箸作りのワークショップや絵付け体験ができます。興味のある方は、スタッフまでお声掛けください。





今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

「飛ばす」は科学の時間です。ペットボトルロケットに空気を入れると、ボトルの中の水、

六月は、初めて「科学」の要素を取り入れ、ペットボトルロケットを作って飛ばす回がありました。ペットボトルから本体部分と翼を作るため、カッター作業があります。ペットボトルをカッターで切るのは結構難しい。見ている方もハラハラ。でもやればコツが掴めます。ロケット本体には、ビニールテープやマジックでカラフルな模様が描かれ、ステンドグラスのように煌めく光に歓声が上がりました。



が押し縮められ、中の空気の力で後ろに勢いよく押されます。同時に、ペットボトルを前に押し返す力が働くため、ロケットは前に飛びます。これがペットボトルロケットの原理。(というところを、飛ばすのが楽しすぎて説明し忘れてました!)とてつもの楽しくなったロケットの回、七・八月にも開催します!濡れても良い服装でご参加ください。

にちようアトリエ 夏の予定表

- 7/10,17 『流木で作るいきもの』
- 7/24 『手作り楽器ーカリンパ』
- 7/31 『作って飛ばそう ペットボトルロケット』
※ぬれてもいい服できてね!
- 8/7 『色水風船あつてこゲーム! カラフルTシャツができた!』
※タオル、白Tシャツ(100%綿だと染まりやすいよ)持参、汚れてもいい服できてね!
- 8/14 『作って飛ばそう ペットボトルロケット』
※ぬれてもいい服できてね!
- 8/21 『草花えのぐを作ろう』
- 8/28 『こどもキッチン スペシャルかき氷を作る回☆』
※飾りに使いたい材料を持ってきてもいいよ!

スタッフおすすめ 今月の本 「日本の色のルーツを探して」



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフのおすすめの本をご紹介します。今月は池田が担当します。日本古来の「色」のルーツって何だろう。確かに知らないなあと、思いこの本を、手に取りました。古くから、特徴のひとつとして、外来文化を取り入れてきた日本。これは色彩文化にも少なからず影響していて、「伝統色」という色は、どんなルーツがあつて、どんな意味があるのか。そんな「日本の色」の深さを知れる一冊です。



ジメジメの梅雨ですね。すぐ裏に山をせおっている芸術村では、梅雨時は山から湿気をおびた風が吹いてきます。こんな時期は香りのおものがむしょくに食べたくありません。みょうがたけ、しそ、梅、山椒など、道の駅にも並んでいます。薬味をてんこ盛りにして冷や奴か、そうめんか・・・。



香りが食欲増進や気をめぐらせる助けをしたり、食中毒を防いでくれるそうです。その時期に必要なものが出てくるようになっていくんですね。季節のめぐりとは、本当によくできているなあ。

マワリテメクハ

季節の小話と一句

七月七日 小暑(しようしょ)
梅雨明けが近付き、夏らしい暑さが始まる頃なので小暑とされる。蝉が鳴き始める頃でもある。
七月二十三日 大暑(たいしょ)
快晴が続く、気温が上がり続ける頃。一年で最も夏の暑さが盛りを迎える頃なので大暑とされる。暑さを乗り切るために「夏の土用の丑の日」には鰻を食べる習慣がある。

今月の一句

暑いねと
氷をかきこむ
頭キーン

イコス日誌

#写真撮影の舞台裏
週末のアトリエのためにペットボトルロケットを試作して飛ばしてみる。空気入れてで圧力をかけて飛ばす!ロマン溢れる夏のひととき。



#ロケット #ペットボトル #噴射 #飛ぶ

SNS更新中!
チェックしてみてね!



【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel : 0241-47-3200
mail : niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

【HP】 【LINE】 【instagram】 【Facebook】 【YouTube】 【Twitter】

